

●今回の提案内容

旧高岡市と旧福岡町の合併前に策定（それぞれ平成17年、平成15年）した都市計画マスタープランについて、策定から10年以上が経過したため、現在見直し作業を進めています。今回、市全体を見渡した全体構想について素案を取りまとめましたので提案します。

1 都市計画マスタープランとは

●都市計画マスタープランとは

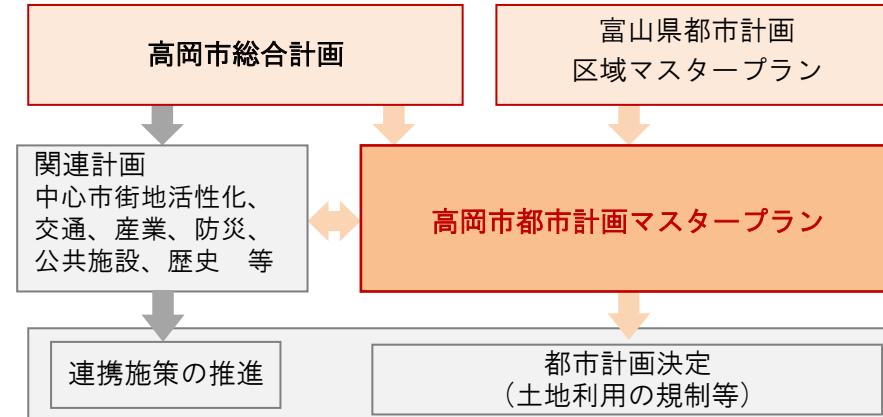
市の都市計画に関する基本的な方針を定めるもので、「土地利用」や「都市施設」の整備など、都市づくりの方針を定めるもの。

●策定の背景と目的

- ・旧高岡市と旧福岡町の合併以降、人口減少や少子高齢社会の進展、北陸新幹線の開業など、本市を取り巻く情勢が大きく変化
- ・新たなまちの将来像を示す総合計画や県都市計画区域マスタープランといった上位計画が策定

旧市町の2つの都市計画マスタープランを一本化し、一体の都市として新たな都市計画マスタープランを策定します

●都市計画マスタープランの位置づけ

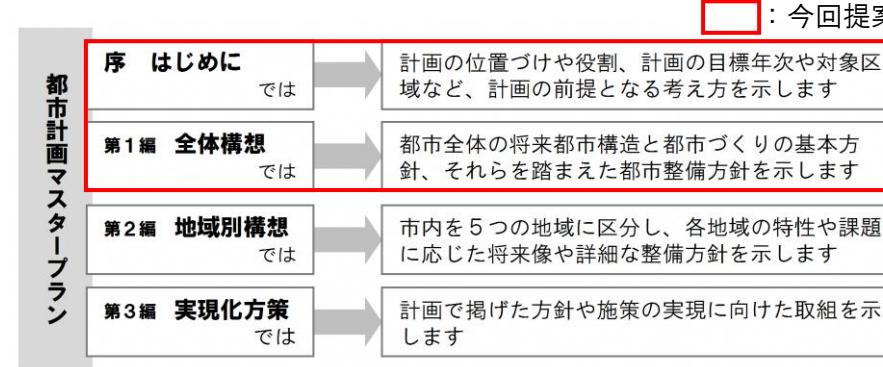


●目標年次・対象区域・計画の構成

【目標年次】おおむね20年後の平成47年（2035年）

【対象区域】都市計画区域外も含む高岡市全域

【計画構成】



2 高岡市の現況と課題

●高岡市の現況（市を取り巻く厳しい状況）

急激な人口の減少	このままだと20年で約3.6万人減（20%減） 中心部では30%も人口減少する地域が存在	自動車への過度な依存	充実した鉄軌道やバスが利用されていない 高齢者や子供などが生活しづらいまちに
市街地の低密度化	市街地の中に空き地や空き家が増大する 生活サービス機能の低下（撤退のおそれ）	産業の低迷	都市活力を支える産業競争力の低下が懸念 労働力人口（若い世代）の減少
厳しい行財政	道路や下水道などインフラの維持費が増加 公共施設の施設総量の適正化（削減）が必要	災害の危険性	市街地の周りに広がる豊かな海・川・山 いつ起こってもおかしくない災害の危険性

●高岡市の「強み」と「弱み」

本市の現況、上位計画の方向性、市民アンケート結果、都市構造の分析結果から、高岡市の「強み」と「弱み」を整理しました。

高岡市の「強み」

- 多くの歴史・文化資産
- 都市基盤（公共施設、インフラ）の充実
- 高い交通利便性（広域交通・公共交通）
- 県西部中核都市としての産業や機能の集積
- 市街地を取り巻く豊かな自然環境
- 災害の少なさに対する住民からの評価

高岡市の「弱み」

- 郊外部における低密度な市街地の拡大
- 十分に活用されていない交通基盤
- 広域的な拠点性や産業の競争力の低下
- 中心市街地の衰退（人口減少、賑わいの低下）
- 日常生活圏での生活サービス施設の不足
- 市街地の一部に含まれる災害危険性

●都市計画上の課題

「強み」の部分を伸ばし、「弱み」の部分を改善していく観点から、本市の都市計画上の課題を整理しました。

都市計画上の課題

- 基盤施設や生活サービス施設が整備された既成市街地の維持
- 中心市街地の活性化や分散した各市街地における生活利便性の確保
- 地域産業の競争力低下や働く場の拡大
- 広域交通基盤の整備や交通需要の変化への対応
- 豊かな自然環境や歴史・文化資産の保全と継承
- 防災施設の整備や災害リスクを考慮した市街地形成

（主なキーワード）

- （公共施設の統廃合・再編、インフラの維持）
- （中心市街地活性化、都市機能集約、拠点形成）
- （基盤整備、競争力強化、魅力のある働く場の拡大）
- （県西部の中核都市、広域交流、地域間連携）
- （文化創造都市、歴史まちづくり、自然・農業との調和）
- （災害に強いまちづくり、安全・安心な生活環境）

3 市が目指す将来像と都市づくりの基本方針

＜高岡市総合計画＞

●目指す将来像

豊かな自然と歴史・文化につつまれ
人と人がつながる 市民創造都市 高岡

●目指す都市構造

「コンパクト・アンド・ネットワーク」
各地域の特性に応じた「都市機能」や「居住機能」
をそれぞれの市街地内に誘導するとともに、
それらを公共交通等で結ぶコンパクト・アンド・
ネットワークのまちづくりに取り組み、機能性、
安全性、利便性の高い持続可能な都市づくり

●都市づくりの基本方針

- 人口減少・少子高齢社会の中で持続的に発展する都市づくり
- 中心市街地と周辺市街地が連携して躍動する都市づくり
- 「ものづくり」を中心に活気ある産業を育む都市づくり
- 広域間と地域間の交通ネットワークが充実した都市づくり
- 歴史・文化と自然を活かした都市づくり
- 安全・安心で快適に暮らせる都市づくり

都市活力

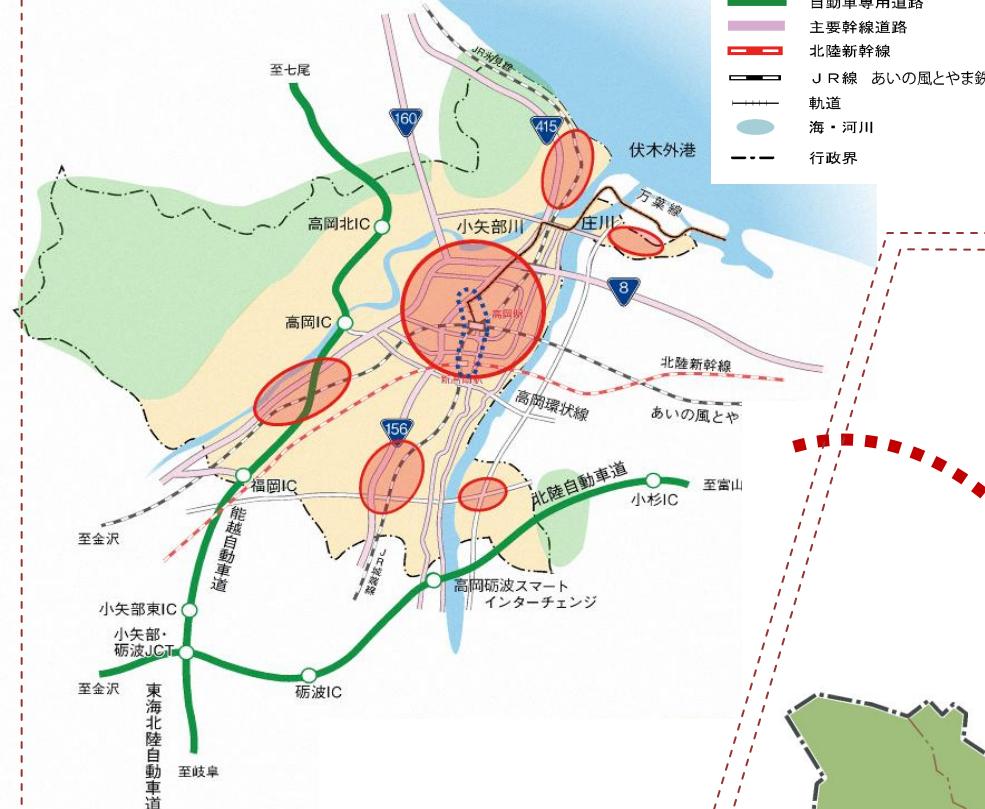
ネットワーク

まちづくりの基本

都市計画マスタープランー全体構想（素案）概要版

4 将来都市構造（都市全体と都心エリアの都市構造）

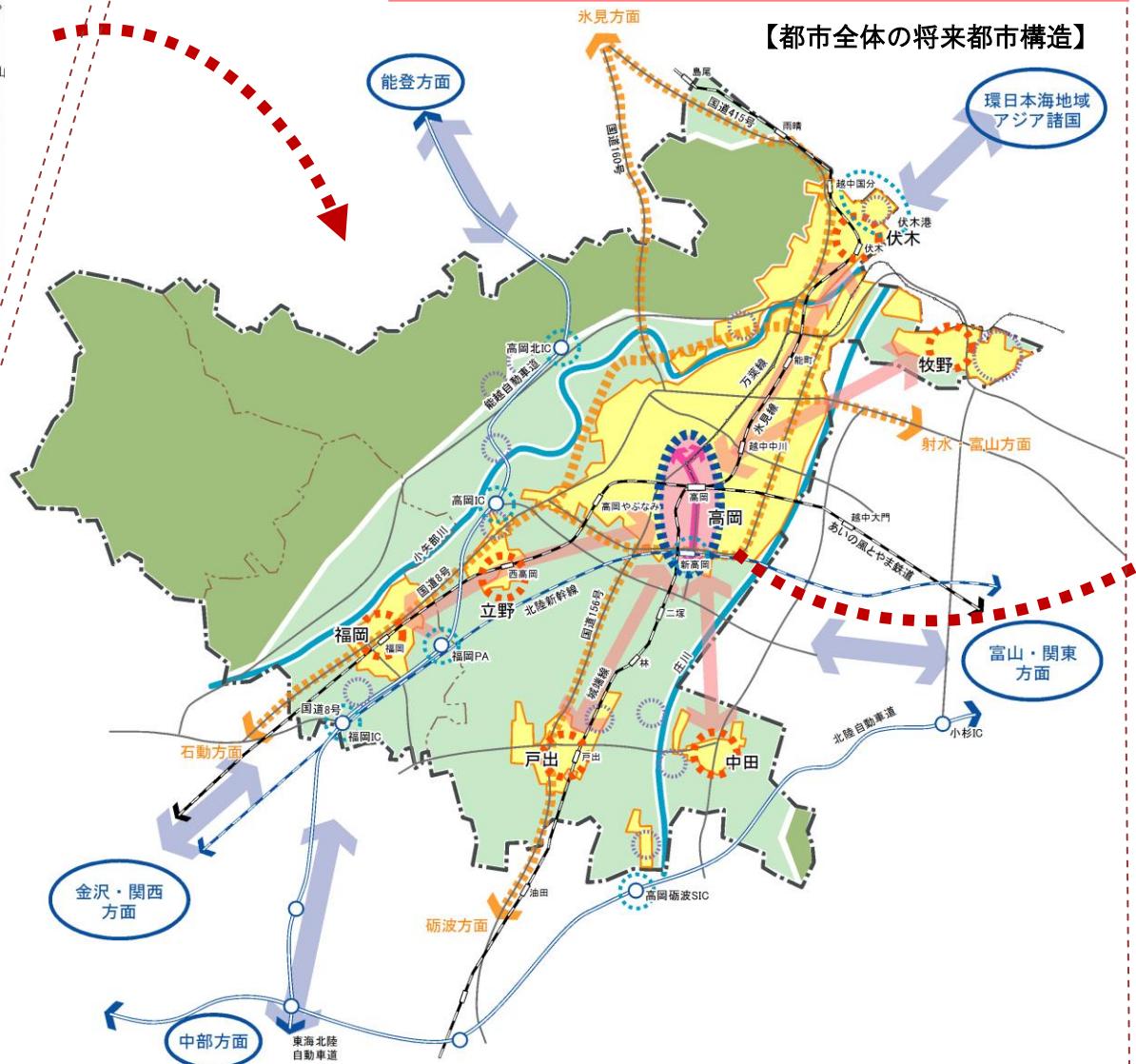
総合計画の土地利用概念図



総合計画では、各地域の特性に応じた都市機能や居住機能をそれぞれの市街地内に誘導するとともに、それらを公共交通等で結ぶ「コンパクト・アンド・ネットワーク」の都市構造を設定します。

「コンパクト・アンド・ネットワーク」のまちづくりの考え方に基づき、都市機能等の集約を目指す「拠点」、都市や拠点間を結ぶ「連携軸」を設定するほか、土地利用の大きな区分を示す「骨格的エリア」の区分を行います。

【都市全体の将来都市構造】



【拠点の設定】

広域都市拠点

…県西部の中核都市にふさわしい高次都市機能の集積を図る拠点

…都心エリア（中心市街地～高岡駅～新高岡駅）

地域生活拠点

…身近な生活サービス機能の集積を図る拠点

…周辺市街地エリア（伏木、戸出、中田、牧野、立野、福岡）内を中心となる駅等の周辺

産業拠点

…産業の集積を図る拠点

広域交通結節点

…大都市圏等との連携を図るための高速交通網の結節点（IC、新高岡駅）

【連携軸の設定】

広域交流軸

…大都市圏等との連携を図るための高速交通網

都市間連携軸

…隣接都市との連携を図るための鉄軌道、道路

拠点間連携軸

…広域都市拠点と地域生活拠点との連携を図るための鉄軌道、道路

都心軸

…中心市街地と高岡駅や新高岡駅との連携を強化するための鉄軌道、道路

【骨格的エリア区分】

都心エリア

…県西部地域の中核的都市としてふさわしい、にぎわいと魅力ある空間の創出を図るエリア

市街地エリア

…住居、商業、工業等の都市的土地区画整備を行なうエリア

田園環境エリア

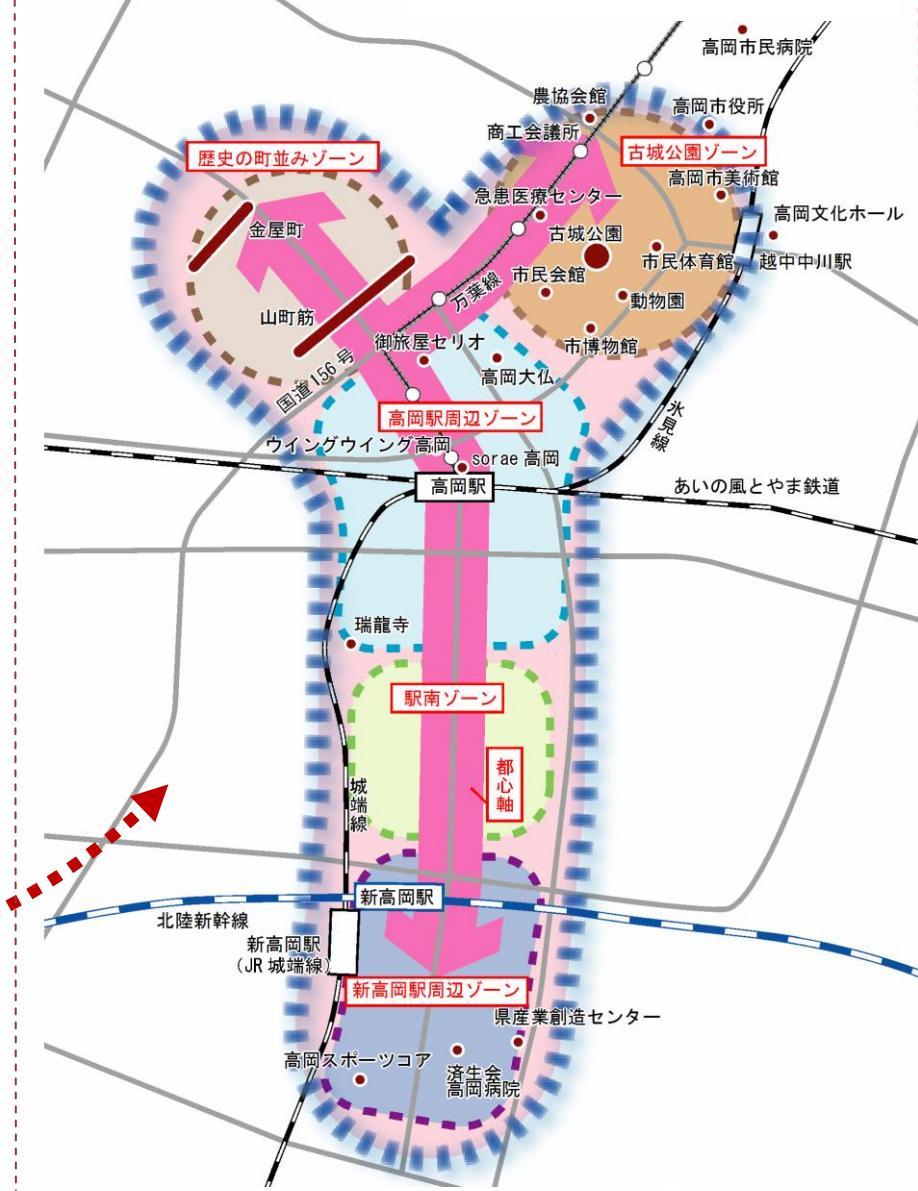
…無秩序な開発の抑制とともに田園環境の保全を図るエリア

自然環境エリア

…良好な自然環境の保全を図るエリア

「都心エリア」については、歴史的な経緯や都市機能集積などの特性に応じて、5つのゾーンを設定します。

【都市エリアの将来都市構造】



① 古城公園ゾーン

…古城公園、美術館や博物館などの文化交流、及び既存に立地する施設を中心に高次都市機能を集約するゾーン

② 歴史の町並みゾーン

…山町筋や金屋町を中心に歴史・文化を活かした観光交流の拠点となるゾーン

③ 高岡駅周辺ゾーン

…県西部地域の交通結節点としての立地特性を活かした高次都市機能や観光交流に資する多様な都市機能を集約するとともに、商業・業務機能の充実を図るゾーン

④ 駅南ゾーン

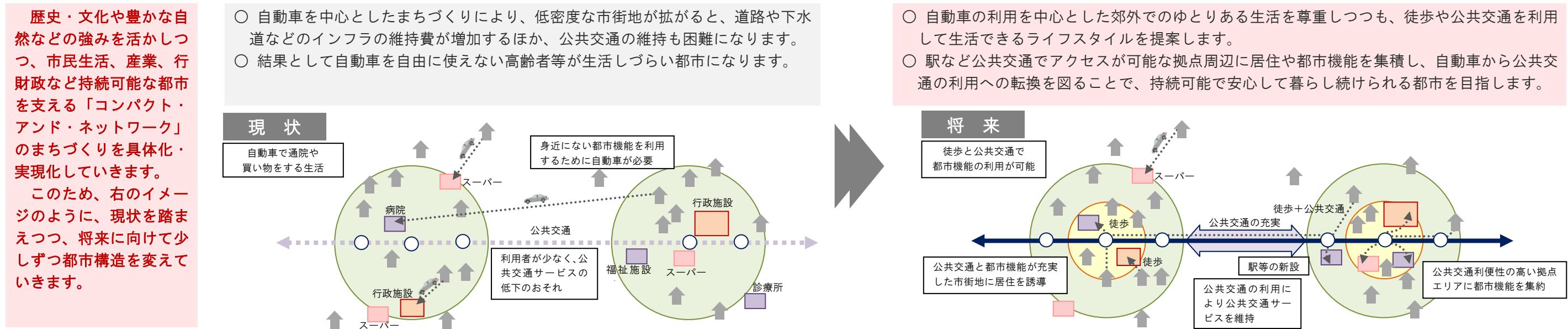
…住宅と商業施設が混在しており、周辺環境と調和のとれた良好な居住環境の形成を図るゾーン

⑤ 新高岡駅周辺ゾーン

…大都市圏と飛越能地域との広域的な交通結節点としての立地条件を活かした高次都市機能や交流・観光機能等の誘導を図るゾーン

都市計画マスタープランー全体構想（素案）概要版

4 将来都市構造（コンパクト・アンド・ネットワークのイメージ）



5 都市整備方針

土地利用や都市施設の整備など、各分野で横断的に施策を展開するため、6つの基本方針ごとに都市整備方針を設定します

●人口減少・少子高齢社会の中で持続的に発展する都市づくり

- 既存ストックを利活用したコンパクトな都市づくりの推進
 - 充実した既存ストック（公共施設、インフラ）の有効活用
- 土地の有効利用や高度利用の促進
 - 低未利用地や空き地・空き家の有効活用
- 既成市街地のインフラの計画的な維持更新
 - 新規整備から計画的な維持更新へのシフト
- 公共施設の計画的な再編と有効活用
 - 民間活力も導入した公共施設の再編と有効活用

●中心市街地と周辺市街地が連携して躍動する都市づくり

- 中心市街地を含む都心エリアにおける高次都市機能の集積
 - 県西部の中心的役割を担う高岡駅と新高岡駅の相乗的利活用
- 周辺市街地における身近な生活サービス機能の集積
 - 都心エリアとの連携を図りつつ地域生活圏を形成
- 徒歩と公共交通で暮らせる都市構造への転換
 - 徒歩や公共交通を利用するライフスタイルへのシフト
- 市街地縁辺部や集落地における生活利便施設の維持
 - 身近な地域における生活利便施設の維持
- 市街地を取り巻く優良農地や自然環境の保全・活用
 - 原則、市街地はこれ以上拡大せずに農地や自然と共に

●「ものづくり」を中心に活気ある産業を育む都市づくり

- 広域交通基盤を活かした産業基盤の整備
 - 企業団地の造成、企業ニーズを踏まえた周辺環境の整備
- 県西部の都市活力を牽引する産業の集積と育成
 - 新規企業の誘致、未分譲地や空き工場への立地支援
- 身近な生活圏における多様で幅広い働く場の確保
 - まちなか居住など中心市街地活性化と連携した働く場の確保
- 地域の商店街の活性化、空き店舗の活用
 - 観光地と商店街を結ぶ回遊性の向上
 - 空き店舗活用に対する支援

●広域間と地域間の交通ネットワークが充実した都市づくり

- 大都市圏に連絡する広域連携ネットワークの強化・充実
 - 新幹線や高規格幹線道路等の整備促進による交流や連携の拡大
- 地域間連携の骨格を担う道路ネットワークの整備
 - 環状放射道路と戦略的道路の整備促進
 - 必要性を踏まえた都市計画道路の見直し
- 都心・都市交通軸の充実・強化
 - 市内を円滑に移動できる交通体系の構築
- 地域特性に応じた公共交通サービスの充実
 - 公共交通不便地域の改善に向けた取り組みに対する支援

●歴史・文化と自然を活かした都市づくり

- 歴史まちづくりの推進
 - 歴史・文化資産の保存・活用、歴史的な町並みの誘導
 - 歩いて楽しいまちづくりの推進
- 文化創造都市の推進
 - 高岡の文化に触れる機会の充実、創造の場の創出
- 都市計画公園等の整備
 - 必要性を踏まえた都市計画公園等の整備・見直し
- 身近な緑を活かした緑豊かな都市づくりの推進
 - 身近な自然環境や農地（都市内農地含む）の保全・活用

●安全・安心で快適に暮らせる都市づくり

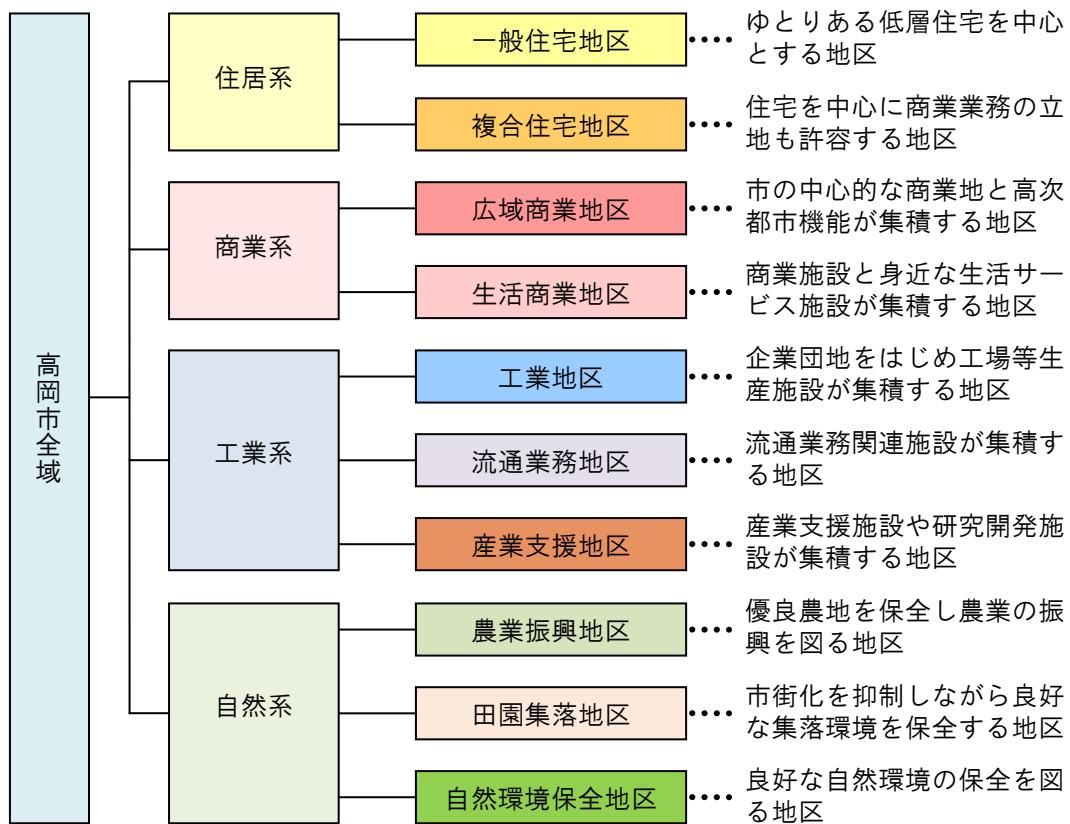
- 災害リスクを考慮した安全・安心な都市づくり
 - 防災意識の向上など地域防災力の強化
 - 災害リスクを踏まえた土地利用の推進
- 日常生活における安全と安心の確保
 - 防犯・交通安全対策の推進
 - 歩行者・自転車など安全で快適な空間整備
- 環境と共生した快適な都市づくり
 - 低炭素・循環型社会など環境の共生まちづくりの推進
 - 恵まれた自然景観の保全、魅力的な都市景観の誘導

都市計画マスタープランー全体構想（素案）概要版

5 都市整備方針（土地利用と道路整備の方針）

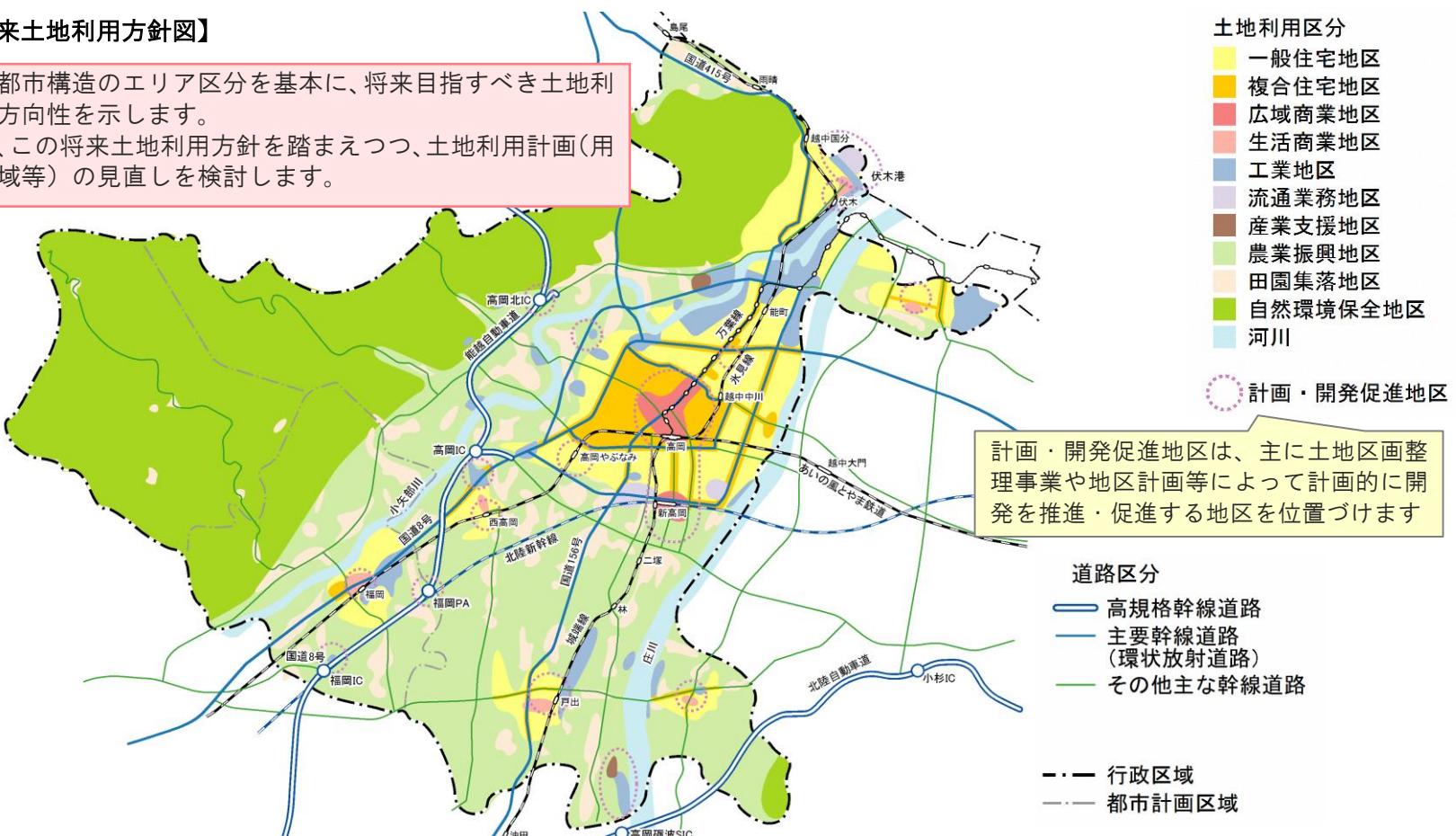
土地利用概念図と将来都市構造図に基づき、土地利用と道路整備の方針を設定します。

【土地利用の区分】



【将来土地利用方針図】

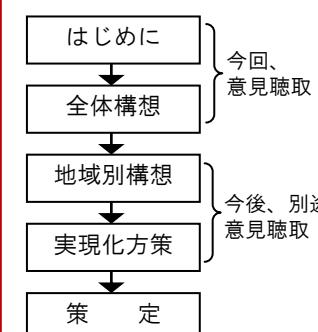
将来都市構造のエリア区分を基本に、将来目指すべき土地利用の方向性を示します。
今後、この将来土地利用方針を踏まえつつ、土地利用計画（用途地域等）の見直しを検討します。



6 今後の進め方

説明会や意見募集などでいただいたご意見については、全体構想の内容へ反映を検討するほか、今後、検討を進める「地域別構想」や「実現化方策」の内容に繋げます。「地域別構想等」については、改めてご提案し、ご意見を伺った上で、平成30年度の計画の策定を目指します。

【検討フロー】



【地域別構想の地域区分】



地域区分は、全体構想の将来都市構造で定めた「コンパクト・アンド・ネットワーク」のまちづくりを推進するため、「都心エリア」と「周辺市街地」を結ぶ公共交通、生活利便性、幹線道路や、地形・土地利用など様々な繋がりを踏まえ、左の5地域で設定します。

また、地域別構想については、観光や産業などの地域特性を活かすような地域別の将来像を示していきます。